

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
313.1	手話通訳派遣事業	01	一般会計		
		03	民生費		
5	障がいのある人等の自立した生活を支える	01	社会福祉費		
		04	障害福祉費		
		102	障害者保護費		
		03	身体障害者保護事業(県単)		
担当部課名	健康福祉部高齢障害課		細目		
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	細々目	

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	聴覚、音声または言語機能の障がいのある人	手話通訳者を派遣することにより、家庭生活及び社会生活等における意思の伝達を円滑に行い、もっての社会参加の促進を図ることを目的とする。			
本年度事業内容	●手話通訳派遣事業 対象者 : 聴覚障害者等 利用者負担 : 無料 派遣者 : 市内に在住または通勤者のうち、社団法人三重県聴覚障害者協会のB級認定試験合格者等 派遣負担 : 登録通訳者に対して報酬を支払うこととし、1時間当たり1,400円とする。				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市手話通訳者派遣事業実施要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,354	1,562	1,546
賃金	907	946	946
報償費	447	616	600
その他			
合計(A+B)	2,074	2,282	2,266
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	902		
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,172	2,282	2,266
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用者延べ人員	人	155	200	220			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者数	利用者数を指標とする	人	155 目標 (人)	200	220
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・手話通訳派遣事業については、臨時職員1名(窓口業務兼務)及び登録手話通訳者で対応している。 ・平成18年10月からは、障害者自立支援法の地域生活支援事業へ移行予定。
--

評価	必要性	4	聴覚障害者等への支援として手話通訳は必要であるが、今後ニーズに応じて、手話通訳者の更なる養成及び確保が必要となる。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A